



薫風

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.17 令和6年11月14日

令和6年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!』

市内小学校親善体育大会

11月7日(木)に「銚子市内小学校親善体育大会」が千葉県総合スポーツセンター東総運動場にて行われました。子供たちは、9月からの2ヶ月間、それぞれの目標に向かって練習に励み、選手に選ばれた児童は、大会で自分の持てる力を精一杯発揮しました。

12日(火)の陸上部解団式では、子供たちに、次のことについてお話をしました。

陸上競技に限らず、どのスポーツにもいえることですが、「大会」という名前がついている以上、そこには勝敗があり、順位がついてきます。しかし、その勝敗を超えて大切なものがあります。それは、みなさんが部活動(陸上部)をとおして「何を感じたのか」「どのような考えで、どのような行動を取ってきたのか」つまりは、「自分自身とどれだけ向き合ってきたのか」ということです。

明神小の選手団は

- ・レース後に、コースを振り返り、「ありがとうございました!」と大きな声で挨拶をし、深々と一礼している選手がいました。
- ・駅伝のレース中、応援席のテントが揺れるくらい、一生懸命に応援をしていました。また、自分の学校だけではなく、最後のチームがゴールするまで、温かい声援を送っていました。
- ・会場の後片付けでは、隣の学校のテントの分まで、率先して片付けていました。

このように、自分たちで考え、自分たちで気付いて行動している明神小学校のみなさんを、心から誇りに思います。ここにいるみなさん全員が金メダルです!

最後に、その金メダルをより深いものにするために、1つお話をします。

それは「生活の中に〇〇がある」ということです。今回で言えば「生活の中に部活動(陸上)がある」。これは、部活動をとおして感じたこと、大切にしてきたことを、生活の中に活かしてほしいということです。部活動で行っている「挨拶」や「返事」が、学級や家でもしっかりとできていますか?自分の生活の中に活かされてこそ、本物の「成長」といえるのではないのでしょうか。

みなさんのさらなる「成長」を楽しみにしています。

<保護者の方からいただいたメッセージを紹介します>

お世話になっております。体育大会お疲れさまでした。先生方へお伝えたく連絡帳に書かせてもらいました。他校の私の友人を含め、スタンドで応援している保護者の方が、明神小の児童がレースを終えた直後、グラウンドに一礼し、「ありがとうございました!」と言っている姿に「すごい」「素晴らしい」と褒めていました。私自身が嬉しかったので、児童に伝えてもらえたらと思い、書かせていただきました。

<大会結果>

・6年男子 60mハードル	6位	今津 友彬さん
・共通女子 走り幅跳び	6位	古田 愛奈さん
・共通女子 ソフトボール投げ	6位	杉山 欄梨さん

